

ふるさと学習「みずほ学」の推進

子どもたちは、地域の一員として育ち、地域社会の形成者としてたくましく成長していくことが望めます。瑞穂町教育委員会では、第1次瑞穂町教育基本計画後期計画（学校教育）に基づき、次代の担い手としての子どもたちのよりよい成長を目指し、平成29年度から地域に根差した教育を「ふるさと学習『みずほ学』」を重点事業として推進しています。瑞穂町のすべての小・中学校で、子どもたちが夢や希望をもって自立的に未来を切り開いていくために、「ふるさと瑞穂」の自然や文化を愛し、社会に貢献できる子どもたちを育成します。地域教材は、子どもたちの興味や関心を得やすく、学習した後も子どもたちの成長の中で、身の回りに在り続けます。学びが、その後の学習に発展する契機となり得る可能性も秘め、たくましく生きる力を育てることに繋がっていくと考えています。

【「ふるさと学習『みずほ学』」のねらい】

- 1 「ふるさと瑞穂」の自然や文化を大切に、郷土を誇れる子どもを育成します。また、地域社会の一員としての役割を担う子どもを育成します。
- 2 平成32年度から導入される次期学習指導要領の大きな柱である「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学びで、学習活動の質的転換を図り、思考力・判断力・表現力を育成します。

【「ふるさと学習『みずほ学』」の内容】

〔一地域を知り・地域と関わり・地域で学び・地域でできることをする〕

- (1) 「知る」学び…地域の自然・文化・歴史を探究します。
- (2) 「関わる」学び…地域の方々と交流します。
- (3) 「する」学び…地域で「わたしにできること」を実践します。

- 1 瑞穂町の自然、伝統・文化・歴史、地域産業、福祉、国際理解、まちづくり、安全・安心等について学び、瑞穂町についての学びを深めます。
- 2 瑞穂町に詳しい専門家、瑞穂町に住む様々な年齢層の方々、瑞穂町の企業・高校等、地域の方々とつながりを大切に、学びや交流を深めます。
- 3 体験的な活動を通して、まちへの関心をもち、素晴らしさを知り、まちのよさに誇りをもち、できることを実践し、よりよいまちづくりに貢献する態度を養います。
- 4 学習活動の中で、子どもたちが互いの理解を深めたり、よさを認め合ったりする場を大いに生み出し、よりよい人間関係の形成に繋げ、豊かな心を育みます。

【「ふるさと学習『みずほ学』」の推進方法】

- 1 学校ごとに「ふるさと学習『みずほ学』推進プラン」を「教育課程」に位置付けて作成し、子どもたちの発達段階に応じたふるさと教育を推進します。

＜学習の時間＞

・各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等において、「ふるさと学習『みずほ学』」を実施します。

- 2 地域の人材を「まちの先生（ゲストスピーカー）」として活用し、体験等を通じた学習を推進します。

＜地域の人材＞

・地域に詳しい方（専門家等） ・保護者等学習ボランティア
・地域の高齢者 ・保護者等学習ボランティア ・町の各部課